

2017年9月28日

技術統括役員直轄の「イノベーション推進室」を設立 —スペシャリスト職として3名の「チーフ・フェロー」を任命—

オリンパス株式会社(社長:笹 宏行)は、技術統括役員直轄組織として「イノベーション推進室」を2017年10月1日に設立します。同時に、新人事制度としてスペシャリスト職(技術開発部門においてはフェローと呼称)の職位を導入し、同推進室に3名の「チーフ・フェロー」を任命します。

「イノベーション推進室」の設立

内視鏡をはじめとして当社を取り巻く医療機器市場は大きく変化しています。

世界的な高齢化の進展や患者人口の増大に伴い、市場の成長が期待される中、デジタル技術の進展によるAI技術、ICT/IoT技術、ロボティクス技術の進化による異業種からの新規参入が、グローバルにも大きく進んできています。

当社が、これまで取り組んできた共通基盤技術開発、通常進化による商品開発、新規領域への新事業創成に加えて、既存事業に及ぼすリスクを有効的な機会(チャンス)として捉えるイノベーション戦略の立案、遂行を行う組織として「イノベーション推進室」を設立します。

同時に人事制度も見直し、専門人材の活躍の場を広げるチーフ・フェロー/フェローを任命し、技術統括役員(CTO)直轄のイノベーション推進室に集約します。外部リソース(産学連携、他社協業、国家戦略との連携)を積極的に活用するオープンイノベーションを基軸として、大胆な施策でターゲットを明確にした(破壊的)イノベーション施策を目指していきます。

「チーフ・フェロー」

後野和弘

『狭帯域光観察内視鏡システムの開発』により2017年 紫綬褒章受章。同技術により、2016年文部科学大臣表彰 科学技術賞(開発部門)、2011年内閣総理大臣発明賞受賞。博士(工学)。

野波徹緒

2016年「狭帯域光観察(NBI)内視鏡システムの発明」により文部科学大臣表彰 科学技術賞(開発部門)、2011年 同技術により、内閣総理大臣発明賞受賞。

菊地 奨

カメラ、顕微鏡、内視鏡医療領域における撮像・認識・計測・解析に至る画像処理技術、アルゴリズムの研究開発を牽引。横浜国立大学情報メディアコロキウム講師。博士(工学)。